

3. 阿蘇草原再生募金による助成支援活動報告

■募金の状況

平成 22 年 11 月の阿蘇草原再生募金の活動スタート以来、寄せられた寄付金は平成 23 年度末で 3,713 件、総額は 4,500 万円を超えた。

- ◇特別協賛企業：18 企業・団体(H24 年 3 月現在)
- ◇募金箱設置箇所：95 箇所(H24 年 3 月現在)
- ◇協賛商品（売上の一部を阿蘇草原再生募金に寄付）
 - ・「阿蘇千年の草原WAON」カード
 - ・熊本県ご当地QUOカード「阿蘇草原とくまモン」
 - ・伊藤園「お〜いお茶」(H24.5.28~8.31)

募金の状況（累計）

時期	件数	募金額（利息含む）
2011.3月末	651 件	18,986,325 円
2012.3月末	3,720 件	45,300,870 円

「阿蘇草原再生募金」特別協賛企業

肥後銀行、九州電力、熊本日日新聞社、熊本放送、化学及血清療法研究所、南九州ココ・コーラボトリング、丸住製紙、日本製紙、熊本第一信用金庫、城野印刷所、熊本県畜産農業協同組合連合会、JAグループ熊本6団体（中央会・連合会）、東京エレクトロン九州、生活協同組合連合会 グリーンコープ連合、グリーンコープ生協ふくおか、グリーンコープ生協くまもと、富士ゼロック熊本端数倶楽部、九州旅客鉄道（順不同、平成 23 年 3 月現在）※寄付が 50 万円以上の企業・団体

■構成員による募金キャンペーン、イベントの実施（H23 年度）

- ◇「みんなでつくろう！手作り募金箱」：123 個の募金箱が完成
 - ・竹の伐採：平成 23 年 8 月 25 日（木）8:00~11:00 参加者 14 名
 - ・募金箱づくり：平成 23 年 8 月 28 日（日）9:30~11:30 参加者 21 名
- ◇北外輪山大観峰募金キャンペーン（募金額：10 万 33 円）
 - ・平成 23 年 11 月 3 日（木）9:30~14:00 参加者 28 名
 - ・実施場所：阿蘇北外輪山大観峰
- ◇熊本市内街頭募金キャンペーン（募金額：10 万 7629 円）
 - ・平成 24 年 1 月 28 日（土）12:30~16:00 参加者 70 名
 - ・実施場所：熊本市内下通、上通り、サンロード新市街の各アーケード内



■第 I 期募金を活用した助成活動の実施状況

第 I 期助成	助成対象の大枠	募集期間	助成先決定	支援活動実施期間	助成総額
第 1 弾助成	草原維持管理の継続、草原を守る担い手づくり（草原環境学習）	H23 年 7.27 ~8.24	第 13 回協議会（H23.9.6）	H23 年 9 月 ~ H24 年 3 月	1,148 万円（実績）
第 2 弾助成	草原維持管理の継続、生物多様性保全、草原環境学習の推進	H24 年 1 月 ~ 2 月	第 14 回協議会（H24.3.14）	H24 年 4 月 ~ H25 年 3 月	1,346 万円（見込み）
第 3 弾助成	※第 15 回協議会で決定	H25 年 1 月 ~ 2 月（予定）	第 16 回協議会（H25.3 月予定）	H25 年 4 月 ~ H26 年 3 月	未定

■第 1 弾助成一覧（支援活動実施期間：平成 23 年 9 月 ~ 平成 24 年 3 月）

助成区分（活動）	助成内容	交付額(円)	助成対象等
草原維持管理の継続	繁殖あか牛導入	繁殖用あか牛の導入に対し、1 農家 1 頭につき 6 万円を助成	85 農家・頭
	野焼き（管理）放棄地の草原再生活動	野焼き（管理）放棄地での野焼きを再開する作業費の一部を助成	小森原野組合（西原村）
	草小積みの制作・設置と草原文化の PR	牧野組合等が制作・設置に関わる費用として、1 基あたり 5 千円を助成	8 組合/101 基 看板製作
	野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動	野焼きや輪地切り支援ボランティアの派遣に係る運営管理費用の一部を助成	（公財）阿蘇グリーンストック
草原を守る担い手づくり（草原環境学習）	あか牛肉の普及・啓発と環境教育	阿蘇郡市内の小中学校給食用にあか牛肉を提供する活動を助成	阿蘇郡市内 38 小中学校給食
		あか牛肉のメニュー開発と利用の啓発につながる活動を助成	熊本県立大学
計		11,475,104	

※第 1 弾助成については、支援対象となる活動を上表の 5 項目に限定して募集した。

第1弾助成による活動実施報告

草原維持管理の継続に向けた活動を支援

1. 繁殖あか牛導入

【助成先】協議会構成員である 85 農家 *繁殖用あか牛導入（増頭）に対して助成

【助成額】総額 510 万円 *1 頭当たり 6 万円×85 頭/農家

*1 農家1 頭が原則

*熊本県の「阿蘇あか牛草原再生事業」の補助に上乘せする形で、熊本県畜産農業協同組合阿蘇支所、南阿蘇畜産農業協同組合及び J A 阿蘇農業協同組合の協力により実施。

【趣旨等】広大な阿蘇の草原保全に向けて、草原保全に貢献するあか牛の放牧を推進するために助成。市場価格の面からあか牛から黒牛へ転換する農家が増加する中、阿蘇の観光資源であるあか牛の放牧景観を守るとともに、野焼き管理の労力負担軽減、あか牛とともに育まれてきた地域文化や在来種の遺伝資源の継承などの面から繁殖あか牛の放牧を促進する。

助成条件

- ・平成 23 年 9 月～平成 24 年 3 月までの繁殖用あか牛導入に対して助成。
- ・導入したあか牛について
 - *阿蘇草原での放牧飼育を基本とする。
 - *最低 5 年間は転売しないこと。
 - *背中に「(阿蘇)草原再生」を記すこと。
- ・熊本県畜産農業協同組合、南阿蘇畜産農業協同組合又は J A 阿蘇農業協同組合との間で「肉用繁殖雌牛貸付契約書」等を締結していること。
- ・上記により、あか牛の増頭につながる場合を対象とする。

(第1弾助成によるあか牛導入状況)

市町村	助成先	頭数	交付金額(円)
阿蘇市	11 組合 (34 農家)、2 個人	36	2,160,000
小国町	3 組合 (8 農家)	8	480,000
南小国町	5 組合 (6 農家)	6	360,000
産山村	3 組合 (4 農家)	4	240,000
高森町	4 組合 (6 農家)	6	360,000
南阿蘇村	8 組合 (23 農家)、1 個人	24	1,440,000
西原村	—	0	0
山都町	1 組合 (1 農家)	1	60,000
合計 (1 頭当たり 60000 円交付)		85	5,100,000



助成により導入されたあか牛の背中には「草原再生」の文字を入れて放牧

2. 野焼き（管理）放棄地の草原再生活動

【助成先】西原村 小森原野組合

【助成額】115 万円 *雑木伐採や輪地切り作業に係る重機レンタル料等として助成

【趣旨等】管理放棄された草原を再生していくために助成。

小森原野では平成 23 年度から 5 箇年計画で雑木化、笹ヤブ化した原野 20ha の草原再生を目指しており、取り組みの促進に向けて初年度の活動（約 5 ha の草原再生）を支援した。

平成 23 年 11 月 12 日には、現地（萌の里周辺）で「輪地切り体験と意見交換会」（主催：千年委員会・阿蘇草原再生協議会・環境省）が開催され 110 名が参加。草原再生に向けた活動の普及・PRにも貢献した。



体験輪地切りには蒲島県知事も参加され汗を流した

3. 草小積みの制作・設置と阿蘇の草原文化のPR活動

【助成先】阿蘇郡市内8牧野組合

【助成額】総額 55万675円

内訳：草小積み制作 1基 5000円×101基=505,000円

説明看板制作：45,675円

*助成条件：観光客の利用する道路沿いへの設置

【趣旨】阿蘇らしい景観づくりとともに草原の野草利用を促進し、

あわせて草原文化や地域で培われてきたワザを引き継いでいくために助成。



草小積みづくり

(助成支援の内訳)

市町村	牧野組合名	設置場所	基数	交付額(円)
阿蘇市	泉牧野組合	国道265号沿い(箱石峠)	10	50,000
	町古閑牧野組合	国道265号沿い(箱石峠)	5	25,000
	三閑牧野組合	やまなみハイウェイ沿い	21	105,000
	宮坂・尾籠牧野組合	ミルクロード沿い	10	50,000
	山田中部牧野組合	ミルクロード沿い	14	70,000
	中無田原野管理組合	ミルクロード沿い	10	50,000
南小国町	扇牧野組合	やまなみハイウェイ沿い	3	15,000
高森町	河原牧野組合	県道135号沿い	28	140,000
計			101	505,000
説明用看板制作				45,675



草原文化と草原利用のPR効果を高めるため、草小積みとあわせて解説看板を設置。

4. 野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動(1) -阿蘇グリーンストックによる活動

【助成先】(公財)阿蘇グリーンストック

【助成額】350万円 *平成23年度の運営管理費用の一部として

【趣旨等】野焼き・輪地切り支援ボランティア派遣数の増加とともに運営管理経費も増大していることから、牧野組合等による草原維持管理の継続に向けて、平成23年度の支援ボランティア派遣に係る運営管理費用の一部を助成。これにより、野焼き・輪地切り作業へ年間延べ106箇所、2307人のボランティアが派遣された。



5. 野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動(2) -学生による活動

【助成先】Link ASO(関西学院大学を中心とする学生NPO団体)

【助成額】12万円 *平成23年度の活動経費(レンタカー、講師謝金、消耗品費等)として

【趣旨等】幅広い人々による支援ボランティア活動や草原再生の普及啓発活動を促進するために助成。Link ASOでは毎年秋に10名前後の学生ボランティアを阿蘇に送りこみ維持管理活動の支援を実施。平成23年度は、10月14日~17日まで学生8名が参加し、新宮牧野での樹林地伐採跡地の片づけ、町古閑牧野での輪地切り・輪地焼きなどの活動を支援。地元の方々との交流や草原の現状や課題についての意見交換も積極的に行った。

6. あか牛肉の普及・啓発と環境教育（1）－地元小中学校で、あか牛給食

【助成先】阿蘇郡市内 38 小中学校（児童・生徒約 5,050 名）の学校給食

* 構成員である阿蘇農業協同組合、熊本県畜産農業協同組合阿蘇支所、南阿蘇畜産農業協同組合を通してあか牛肉を提供

【助成額】総額 100 万 4,844 円

【趣旨等】あか牛肉の消費拡大と普及啓発に向けて、阿蘇郡市内の小中学校の学校給食にあか牛肉を提供するために助成。子どもたちにあか牛肉の美味しさを知ってもらい、阿蘇の草原に興味を持ってもらうために、給食とあわせて草原とあか牛の関係などを紹介するチラシを配布した。



給食前に先生からあか牛と草原の関係を説明（阿蘇市宮地小学校）

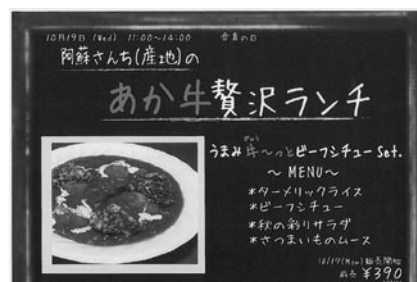
7. あか牛肉の普及・啓発と環境教育（2）－あか牛のメニュー開発と普及啓発

【助成先】熊本県立大学（食育の日の活動）

* 構成員である南阿蘇畜産農業協同組合を通してあか牛肉を提供

【助成額】4 万 9,585 円

【趣旨等】あか牛肉のメニュー開発と消費拡大につながる活動として助成。熊本県立大学「食育の日」（10 月 19 日）の活動として、『阿蘇さんち（産地）あか牛の贅沢ランチ』としてオリジナルメニュー「うまみ牛〜っとビーフシチューセット」を限定 150 食で提供、あわせてあか牛肉の特徴や栄養価などが報告された。



『うまみ牛〜っとビーフシチューセット』を紹介するポスターより

（学校給食等への助成実施状況とメニュー）

市町村	助成協力	実施校	生徒数	メニュー	食数	助成額・円	肉量 kg
小国町	JA 阿蘇小国郷	小国小・中学校	607	あか牛のカレー、あか牛肉の肉じゃが、ミートソーススパゲティ	2,220	117,464	72.00
南小国町	JA 阿蘇小国郷	(小) 中原、市原、りんどうヶ丘、(中) 南小国	304	あか牛のビーフカレー、あか牛ごはん、あか牛ハンバーグ	1,090	63,336	39.40
阿蘇市	県畜産農協阿蘇支所	(小) 宮地、坂梨、中通、古城、(中) 一の宮	842	(小) あか牛肉のすきやき (中) あか牛肉の牛丼	960	168,000	56.00
		(小) 碧水、乙姫、阿蘇西、尾ヶ石東部、内牧、山田 (中) 阿蘇、阿蘇北	1,249	あか牛の牛丼	1,420	230,650	102.25
		波野小・中学校	107	阿蘇あか牛丼	140	39,900	9.50
高森町	南阿蘇畜協	高森中央小、高森中学校	401	あか牛のっぺ、あか牛和風ポトフ	900	51,540	27.00
		高森東小・中学校	63	あか牛の牛丼	94	44,070	3.60
南阿蘇村	南阿蘇畜協	(小) 中松、白水、両併 (中) 白水	320	あか牛のハヤシライス、あか牛のスキヤキ	780	60,000	30.00
		久木野小・中学校	193	ひごのあか牛焼肉丼	224	37,900	10.00
		(小) 長陽、長陽西部、立野、 (中) 長陽	335	あか牛丼、あか牛とマコモダケのふるさとスープ	799	69,900	36.00
西原村	南阿蘇畜協	(小) 山西、河原 (中) 西原	615	あか牛肉の焼き肉ソテー	705	122,100	37.00
熊本県	南阿蘇畜協	県立大学		阿蘇さんちの贅沢ランチ（ビーフシチュー）	150	49,585	12.00
計			5,036		9,482	1,054,429	434.75